







令和元年度 寒川総合図書館 主要事業実績

	事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(ア) 利用者高齢化への対応	俳句ポストの設置	現代俳句協会とコラボの「俳句ポスト」を設置。毎月決まった題で利用者から投句してもらい、協会で優秀として選ばれた句は雑誌「現代俳句」に掲載された。	2019.4.3～	投句 189句 優秀句 47句 (うち特選 2句)	2019年度で189句の投句があり、47句が優秀句に選ばれた(うち特選2句)。住民の俳句の創作と成果の発信を進めることができた。 
	回想サロン	町の高齢者の方を対象に昭和30年代の懐かしい映像や新聞記事を見てクイズに答えたり、思い出を語り合う回想サロンを初めて開催した。「三人娘」、「三種の神器」、「美智子様」など、参加者にはその当時の思い出を楽しく語ってもらった。好評のため同じ参加者メンバーで30年代の続きを実施し2回目は「東京タワー」や「オリンピック」、「野球」、「相撲」などのスポーツの話題とした。下期には昭和40年代で開催した。	①6.27(木) ②7.25(木) ③10.10(木) ④11.7(木)	①10人 ②9人 ③9人 ④5人	面識のない住民同士のコミュニケーションの促進ができ、昔を思い出し、語ることによる認知症予防に効果も期待できる。 ▼対応できるスタッフが限られる為、開催回数が限られる。 
	バリアフリー映画会	バリアフリー映画会として「武士の家計簿」を上映。町の福祉課から町内の福祉施設を対象にPRしてもらい、障がい者優先で募集したところ、7名の申し込みがあった。(うち聴覚障害の方が4名+付き添い、家族)。その後、一般の受付も行ない、当日は20名の参加となった。	11.3(日)	20人	健常者でも耳の遠い高齢者に日本語字幕は好評だった。 図書館にとってもバリアフリー映画とはどのようなものかを初めて体験することが出来、非常に有益だった。 ▼年1回の上映制限があり、映画も限定されている。 




		事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(イ) 若年層の利用促進	乳幼児向けサービス	おひざにだっこのおはなし会	0歳～2歳児と保護者を対象にスタッフによる絵本の読みきかせ、わらべうた、手遊びを実施した。	毎月 第一日曜日 第四水曜日 20回開催	延べ427人	<p>幼児に本やわらべうたを通じて親子で図書館に親しんでもらえる機会ができた。</p> 
		ぬいぐるみお泊り会	子どもたちにお気に入りのぬいぐるみと一緒におはなし会に参加してもらい、ぬいぐるみは図書館に一晩お泊りし、そのぬいぐるみの図書館での様子の写真をアルバムにして渡すイベントを実施した。	①5.24(金) -5.25(土) ②12.13(金) -12.14(土)	①18人 ②20人 (保護者含む、子どもは各10人)	<p>子どもが図書館と本に親しみを感ずる機会づくりができた。 ▼参加希望者は多いが一度に参加できる人数に限られる為、実施回数の増加を要検討。</p> 
		子育て支援センターわらべうた講座	寒川町子育て支援センターとの共催イベントとして「図書館スタッフと一緒にわらべうた」と題し「わらべうたってどんなうたがあるの?どんな時にうたえば良いの?」など、赤ちゃん連れの保護者を対象に図書館スタッフが出張してレクチャーを実施した。	①9.11(水) ②2.12(水)	①46人 ②46人	<p>子育て支援センターと連携することにより施設の相互利用促進することができた。</p> 
		布絵本作り講座	町の布絵本サークル・ピーターパンクラブを講師に招き、0～3歳向け布絵本をつくる初心者向け講座を開催した。小さい子ども同伴でも参加できるように、町のボランティアセンターにベビーシッター派遣を依頼し、事務室で保育を行った。参加者には子や孫のため世界にひとつだけの絵本作りを楽しんだ。	①6.1(土) ②6.8(土)	①9人 ②10人	<p>図書館が所蔵していないオリジナル布絵本を作る楽しみと子どもや孫に使ってもらい楽しむ体験できる機会作りができた。町のサークルの協力を得て、連携が図れたのも有益だった。</p> 
		ブックスタートボランティアおはなし会講座	町の子育て支援課が推進している0歳児向けブックスタートのボランティアメンバーを対象に、図書館の児童担当スタッフからブックスタートやおはなし会についてレクチャーを行い、0歳児に本を親しませることの重要性や読み聞かせの時の注意点等を説明した。	6.28(金)	20人	<p>子育て支援課と連携することによる新しい図書館利用者を開拓に繋げることができた。</p>


		事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(イ) 若年層の利用促進	児童向けサービス	おはなし会	幼児、児童、親子を対象にスタッフとボランティアによる絵本の読みかきせを開催した。	毎週土曜日 43回開催	延べ745人	読書や図書館に親しんでもらえる機会を作った。 
		おりがみとおはなし会	絵本の読み聞かせと、その世界をおりがみで楽しむコラボ企画とした。ハートがでてくる絵本を読んだ後、かわいいハートがついた小物入れを作った。	4.28(日)	約40人	絵本の楽しみと折り紙を作る楽しみの体験を提供できた。
		夏のスペシャルおはなし会	夏のスペシャルおはなし会を1階児童コーナーのスペースを広く使い、楽器など使用して開催した。絵を描きながら、ペットボトルを使った手品を見ながら、折り紙を使いながら、など参加型おはなしの世界を楽しんだ。	7.27(土)	約60人	様々な形のおはなしを楽しむ機会を提供することができた。 
		夏のスペシャルこわ〜いおはなし会	図書館閉館後のカウンター前を暗くし、スタッフ、ボランティアで、怖い内容の絵本、紙芝居、朗読等を行った。いつもと違う暗い図書館と少し怖い内容に子ども達も静かに聞き入った。帰りに渡した手作りのお清めの塩の包みも好評で、非常に盛況だった。	8.25(日)	約90人	単に怖いだけでなく、地域に伝わる話なども盛り込み、郷土への関心を深められた。 ▼前回アンケートにより怖さを増した内容としたが、幼い子どもには怖すぎるとの意見もあり、最後はホッとするような構成の工夫が必要。
		冬のスペシャルおはなし会	「みんなで！たのしく！ピクリマス」としてクリスマス関連の絵本のブックトーク、読み聞かせやサンタの折り紙を行った。	12.21(土)	約70人	多くの子ども達がクリスマスの雰囲気を楽しんだ。 
		ライブラリースイネマ SAMUKAWA	定期映画会の午前の部に子ども向けの上映した。 8月「おまえうまそうだな」 12月「おしりたんてい」	①8.29(木) ②12.26(木)	①約60人 ②約80人	図書館で映画に親しんでもらう機会を提供した。子ども達はカーペットの上に座ってもらい、上映時間前から人が集まり盛況だった。 ▼上映できる映画が上映権のあるものに限定される。
		夏休みわくわく読書マラソン	本を読んで「わくわく読書マラソン」カードに記録し、スタンプを集めると認定証と記念品がもらえる毎年恒例のイベント。今回は10冊で認定証を発行し、それ以降は夏休みが終わってからも読書に親しんでもらえるように読書通帳に記入してもらった形式とした。	7.20(土) ～9.1(日)	411人	読書を楽しんでもらう習慣を推進する機会を提供できた。 前年参加者の381名より411名と増加したが、うち10冊以上読んだ人は332名から282名と減少した。 ▼参加者、冊数ともに増加できるように工夫を要検討。

	事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(イ) 若年層の利用促進	図書館 ・文書館 体験ツアー	普段見ることのできない図書館や文書館の裏側を見学や図書館の仕事を体験するツアーを開催した。 対象；小学校3年生～高校生	①7.26(金) ②8.23(金)	①5人 ②5人	図書館を利用者としてではなく、仕事をする側から理解してもらえるよい機会となった。
	夏休み 宿題調べ隊	図書館を使って「調べる」おもしろさを体験してもらうために、ゲーム感覚で楽しんだ。今回は「国」をテーマに参加者がいろいろな国について資料を使って調べ、リーフレット形式にまとめた。	8.2(金)	8人	自分で調べて、その内容をまとめる過程を体験してもらえた。完成したリーフレットは企画展示室前の宿題おたすけコーナーに展示した。 ▼参加者個人により差があり、進捗の時間配分が難しい。 
	パチパチ座 紙芝居発表会	町の紙芝居サークルグループ「パチパチ座」が町民センターで行なった子供向け紙芝居講座の成果発表会を図書館1階おはなしコーナーで開催した。各自、講習の成果を披露し、紙芝居作家のときわひろみさんも講師として参加し、子ども達にユーモアを交えた講評をした。	8.8(木)	約40人	子どもたちが紙芝居を見るだけでなく、演じて成果を発表する良い機会を提供できた。町民センターとの連携が図れたのも有益だった。 
	ロボットプログラミング ワークショップ	パソコンでブロック化された命令を組み合わせることによって、ロボット「こくり」をしゃべらせたり首や腕を動かしたりする講座を小学生対象に開催した。	2.2(日)	午前：5人 午後：5人	マウスやキーボードに慣れていない低学年の子供は保護者のサポートがある程度必要だったが、自分の作ったプログラム通りに動くロボットは子どもたちに非常に好評だった。子どもたちがプログラミングを体験できるよい機会となった。 ▼ロボット・PCが5台のため、参加者が限定された。 
	さむかわ ジュニア司書 講座	司書の仕事を楽しく身につけながら図書館のイベント（図書館まつり等）に参加したり、新春図書館福袋に詰める本のテーマおよび本の選定した。新聞バッグ作り、ポップ作りなど本推薦や書架の飾りつけを経験した。	6.15(土) ～2.9(日) 全9回	9人	スタッフと一緒に仕事をするにより、本や図書館について理解を深めた。

		事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(イ) 若年層の利用促進	児童向けサービス	紙芝居講座	児童書翻訳家の野坂悦子氏をお招きし、紙芝居を読む人向けに紙芝居の特性、演技方、おすすめ紙芝居などを紹介する講座を開催した。読み聞かせボランティア、図書館スタッフを中心に参加。	2.20(木)	37人	紙芝居のスキルアップのよい機会となった。 
	YA向けサービス	YAコーナー展示	YA(中高生)向けの展示を実施 テーマ ・「新学期!部活特集」 ・「旅行・冒険・ホラー特集」 ・「科学っておもしろい」 ・「きゅんきゅん」	—	—	中高生に関心のありそうなテーマで展示を実施した。 ▼どれくらい利用されているかの分析・評価が必要
(ウ) 発見のある図書館		ライブ・イン・ライブラリー	閉館後の図書館で音楽演奏会を開催 4月 ぶりずむくぶれDuo 12月 木管五重奏 1月 旭が丘中学校邦楽部 	①4.20(土) ②12.14(土) ③1.11(土)	①約60人 ②約50人 ③約80人	「ぶりずむくぶれDuo」というの町内在住の夫婦によるハープ、リコーダー、太鼓などの楽器を使った演奏は奥様の軽妙な語りと珍しい楽器の演奏で集まった観客には非常に好評だった。普段聞くことのない実際の楽器の音色・演奏を聴くことの出来る機会を提供できた。
		ライブラリーシネマ SAMUKAWA	図書館で定期的に映画会を開催。 5月 ドイツ映画「嘆きの天使」 8月 日本映画「くらわんか」 11月 フランス映画「地下室のメロディー」	①5.30(木) ②8.29(木) ③11.28(木)	①約40人 ②約25人 ③約35人	第一回目として、高齢者をターゲットにした古典名画「嘆きの天使」(1930年・ドイツ映画:日本語字幕付き)を上映。平日の昼間の催しに会場が満員となり盛況だった。図書館で映画に親しんでもらう機会の提供ができた。これによりこれまで図書館に来なかった住民に利用増が期待できる。 ▼上映できる映画が上映権のあるものに限定される。
		しまんとバッグステップアップ講座	古新聞とでんぷん糊だけで作る「しまんとバッグ」の大きなバッグを作りたいとの希望があり、経験者を対象に古新聞紙5枚で作るステップアップ講座を9月に開催。初めての参加者もいたが、スタッフの丁寧な指導もあり参加者それぞれ素敵なバッグを楽しんで作った。2月はバレンタインデーに向けた英字新聞を使ったおしゃれなワイン入れとハート型バッグを作った。	①9.14(土) ②2.9(日)	①5人 ②12人	バッグを作る楽しさと環境問題を考える機会の提供ができた。 
		椅子ヨガ教室	図書館での読書や勉強で疲れた身体と心をほぐしてもらうために茅ヶ崎からインストラクター2人を招き、椅子ヨガ教室を実施。	9.29(日)	17人	参加者はいい汗もかきリラックスできた様子で好評だった。身体を動かすことと健康を考えてもらう機会を提供ができた。 

	事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
（ウ） 発見のある 図書館	大人の朗読会	耳から入る物語の世界を楽しんでもらうために閉館後の図書館を会場にして「秋」をテーマに大人向け朗読会を開催した。海老名市有馬図書館で活動している朗読のボランティアを招き、スタッフ3名と共に2つの詩と3つの物語を朗読した。	11.17(日)	20人	大人を対象とした朗読会を初めて実施したが好評で、引き続き開催の要望があった。
	お片づけ講座	整理収納アドバイザーの資格を持つ図書館スタッフが年末年始にも役立つ部屋の片づけの手順をわかりやすくアドバイスする講座を開催した。	11.24(日)	15人	具体的事例を交えながらの説明がわかりやすいと好評だった。図書館がいろいろな面で生活の役に立つことを示すことができた。 
	図書館まつり	昨年に引き続き、地域の人達に図書館の楽しさを知ってもらうために「図書館まつり」を開催。 スタッフから提案のあった様々なイベントとして、コンサート（コーラス、弦楽器演奏）、おはなし会、模擬店（福祉事業所のお弁当など）、様々なワークショップ（バルーンアート、浮世絵版画、おりがみ、しおり作りなど）、布おもちゃ展示、ゲーム（ビンゴ、釣り、輪投げ、カルタ）、スタンプラリー、スタッフ推薦一棚展示、図書・雑誌リサイクルなどを行った。	10.27(日)	約3,800人	天気にも恵まれ、一日中大盛況となった。図書館を知ってもらえるよい機会となった。 
	図書館 新春福袋	毎年恒例の古新聞とでんぶん糊だけで作った「しまんとバッグ」に様々なテーマで選んだ本を3冊と手作りのしおりを入れ、中身が分からないように福袋として約90袋を用意し貸出を行った。	1.4(土) ～1.7(火)	—	新聞バッグと袋の中の手作りしおりは利用者に差し上げ、好評だった。福袋の作製にはジュニア司書のメンバーにも参加した。中身がわからずに本を借りるという本との意外な出会いを提供できた。 
	企画展示	展示テーマ ・「さむかわのみぢかな木」 （含む林野庁パネル展示） ・「新さむかわ子ども読書100選」 ・「子どもと考える戦争と平和」（含む被爆樹木パネル展示） ・「障がい者のくらし」 （福祉課との共催） ・「The 写真集 —レンズの向こうの世界」	—	—	環境や平和、福祉を考えてもらえる素材とともに図書を展示できた。

	事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(エ) 広報活動に関する提案	図書館新キャラクター「十進法王国」	図書館スタッフ考案により、図書の分類「日本十進分類法」を司る『十進法王』と『しおり大臣』、分類番号の10種のキャラクターを『十進王国物語』の仲間達として発表。イベントや書架の表示等で使用した。 また、11月開催の図書館総合展のポスターセッションでも紹介した。	2019.7-	-	数字だけでは分類の内容が分かりづらいため、キャラクターを使って子ども達にも親しみを持てる表示とし、図書の分類の理解と探索に役立てた。読書指導員を通じて町内の学校でも利用された。 
	図書館総合展パネルセッション	年に一度開催される「図書館総合展」で新しい図書館キャラクター「十進王国物語」について「キャラクターを利用した児童読書支援活動」としてポスターセッションの展示参加。同時に図書館キャラクターグランプリに「十進法王」をエントリーした。	11.12(火) ~11.14(木)	-	パネルセッションで寒川総合図書館の展示が最優秀賞を受賞した。ポスターブースは来場者も多く、キャラクターを自館でも使いたいとの他図書館からの要望も受けた。 
	媒体掲載	<ul style="list-style-type: none"> 令和関連展示 (タウンニュース 2019.4.19) 「図書館で映画会」 (タウンニュース 2019.5.17) 「今晚はお泊り ぬいぐるみお泊り会」 (タウンニュース 2019.5.31) 「梅雨の合間の椅子の行列 蔵書点検」 (タウンニュース 2019.6.28) 「乗る場所が違う」 (タウンニュース 2019.11.1) 「十進王国キャラ高評価」 (タウンニュース 2020.2.20) 「ロボ登場」 (タウンニュース 2020.2.21) 湘南さむかわラジオ定期番組 (2019.12.18) 			広報、ホームページ、Twitter、Instagramなどで情報発信していますが、マスコミ媒体を通じた不特定多数に対する情報発信をすることができました。 ▼更に取り上げてもらえるように媒体への働きかけが必要。 

		事業名	内容	時期	参加者	成果・課題
(オ) 地域の発展のために		野谷久仁子さんのお話と革を使ったキーホルダー作り	「吉田カバン」の創業者である、吉田吉蔵氏（寒川町出身）を父に持つ、バッグデザイナーとして著名な野谷久仁子さんによる父との思い出話や革クラフトに対する思いなどを伺いながら、手縫いの革のキーホルダー作りを体験した。	6.22(土)	23人	<p>地元ゆかりの著名人によるイベントで郷土に対する関心と親しみを持ってもらえた。これまで図書館に來なかつた住民に利用増が期待できる。</p> <p>▼候補者の選定</p> 
		図書館まつりイベント	寒川町在住のBMXチャンピオン・内野選手の講話と実演を実施。	10.27(日)	-	<p>BMXの実演のため、図書館内にパネルを敷き実施した。色々なイベントに対応できることがわかつた。</p> 